

## Imaging Team

### 掲載内容

#### 営業情報

- Photometrics 社製カメラの製造中止モデルについて
- AutoQuant X3 Total 販売終了のご案内
- 浜松ホトニクス社製 ImagEM x2-1K C9100-24B 販売開始

#### 技術・サポート情報

- Meta Imaging Series Version 7.8.7 がリリースされました
- Meta Imaging Series Version 7.8.8 がリリースされました
- 細胞等自動抽出機能について
- Journal リストの公開について
- ASI 社製 Tiger コントローラ制御について

#### はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Region Measurements (4)  
計測結果のグラフ表示を行う

## 営業情報

### Photometrics 社製 CCD カメラの製造中止モデルについて

株式会社日本ローパーより、CoolSNAP-EZ、CoolSNAP-ES2、CoolSNAP-KINO の 3 機種に関して 8 月をもって製造中止になったとのアナウンスがありました

MDJ では、これら機種に変わる DOC Cam HR シリーズや sCMOS カメラを取り扱っていますので、ご用途に応じたご提案が可能です

デモも可能ですので、ご希望の方は、当社担当までご連絡ください

### AutoQuant X3 Total 販売終了のご案内

AutoQuant X3 TOTAL ソフトウェア(下記型番の商品になります)の販売を終了しました

型番 : AQX3-TOTAL-WF, AQX3-TOTAL-CF, AQX3-TOTAL-CWF

なお、AutoQuant X3 ソフトウェア(WF, CF, CWF)は引き続き販売しております  
ご不明な点や、引き合い・商談に関する確認は、営業担当までご連絡下さい

### 浜松ホトニクス社製 ImagEM x2-1K C9100-24B 販売開始

浜松ホトニクス社より ImagEM x2-1K C9100-24B が販売開始されました

詳細は、

<http://www.hamamatsu.com/jp/ja/product/category/5000/5005/C9100-24B/index.html>

をご覧ください



## 技術・サポート情報

### Meta Imaging Series Version 7.8.7 がリリースされました。

メンテナンス期間内の Meta Imaging Series ソフトウェアは、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、バージョン 7.8.7 にアップデートすることが出来ます

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらから ID 番号を入力して Log-in し、「7.8.7 Update」をクリックします。

※32bit OS をご利用の場合は、「MM787-32.zip」を、64bit OS をご利用の場合は、「MM787-64.zip」になります

メンテナンス期間かどうかの確認は、下記 WEB から Version 選択と System ID を入力することで、確認することが出来ます。STEP 3 に期限の日付が表示されます

<http://www.meta.moleculardevices.com/Authorize/>

バージョン 7.8.7 の主な変更点は下記になります

#### カメラ関係

Andor SDK3(Neos, Zyla) : Software Trigger の取り込み・デバイスストリーミングサポート

DOC-Cam : DualCamera モードをサポート

PICam : DualCamera モードをサポート、シャッターシンクロナイズの追加機能

#### ハードウェア関係

CrEST X-Light : Firmware 1.5 をサポート

Leica DMx000 : Contrast method の切り替えのバグ改善、Motorized Tube を Leica Port へと名称変更

NI-DAQmx : コンフィグレーションセットの追加

Nikon TE-2000 シリーズ : Z キャリブレーション・Z モータ制御・仮想モードでのコンポーネント設定のバグ改善

Olympus IX3 : IX83 の Transmitted シャッターの Delay 設定を追加

Prior Controller : 6 フィルターホイール・6 シャッターのサポート

Spectral LMM5 : Borealis Widefield をサポート

Thorlabs : フィルターホイール(FW103H/M)をコントローラ(BSC201)にて制御サポート

#### MetaMobile iOS アプリケーション関係

MetaMobile から Journal 機能(選択・開始)をサポート、変数(Variable)入力をサポート、XYZ の表示機能の強化

MetaMobile での MDA 機能のプレビュー表示のバグ改善

#### ソフトウェア関係

Auto Trace 機能 : Click-to Find の機能を追加

Cell<sup>^</sup>TIRF : TIRF ポジションの保存と読出しをサポート、Penetration Depth の入力サポート、仮想モードでのバグ改善

モニタージュ機能 : 過大イメージの展開画像をサポート

MDA 機能 : Event mark 機能のバグ改善

Scan Slide 機能 : 波長選択時のバグ改善

Targeted Illumination 機能 : 20usec よりも少ないで時間での照射をサポート

詳細は、上記 URL にある Updater のダウンロードサイトよりご確認頂けます

## Meta Imaging Series Version 7.8.8 がリリースされました。

上記記載の Version 7.8.7 に続いて Version 7.8.8 もリリースされました  
メンテナンス期間内の Meta Imaging Series ソフトウェアは、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、バージョン 7.8.8 にアップデートすることが出来ます

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

アップデート方法は Version 7.8.7 と同様になります

MM788-32.zip または MM788-64.zip をご使用ください。

Version 7.8.8 の変更点は下記になります

### カメラ関係

Andor SDK3(Neos, Zyla) : Zyla 4.2 USB3 のサポート開始

Tholabs : 1500M と 8050M のサポート開始

### ハードウェア関係

Leica 顕微鏡 DMi8 (SDK 2014.2)のサポート開始

### ソフトウェア関係

Multidimensional Acquisition(MDA)関連

オートスケールを外した状態で Live を繰り返したときの表示不良を修正

MetaMobile 使用時のバグを修正

タブ表示のバグを修正

## MetaMorph 細胞等自動抽出機能について

Version7.8.7 より MetaMorph NX ですでに実装済だった Auto Trace Region 機能が追加で実装されました

この機能を用いますと不均一な背景画像内の対象物もワンクリックで抽出可能です



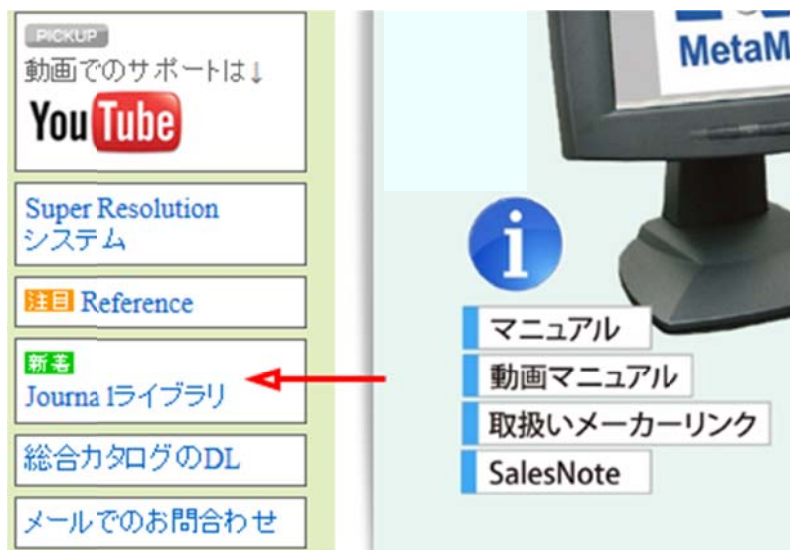
## Journal リストの公開について

UIC 事業部 WEB サイトからすでに作成済 Journal(マクロ機能)リストをご覧いただけるように改善しました

各 Journal に簡単な説明を PDF につけていますので、ご必要と思われる Journal が見つかりましたら Journal 番号を連絡いただくことで Journal をお送りさせていただきます

このリストは定期的に更新していきますが、皆様が作成された Journal をシェアしていただける方がいらっしゃいましたら当社サービス担当まで、ご連絡ください

ご紹介くださった方には、Journal 本数(ポイント制)に応じてメンテナンスの期間延長等のサービスを行わせていただきます



## Journal ライブラリー

弊社がこれまでに作成した実用性の高い Journal のリストです。  
大きく分けて撮影系の Journal と解析の物に分けています。  
詳細情報をクリックしていただく事で、簡単な Journal の紹介をご覧いただく事が出来ます。

御使用になられない場合、[こちら](#)よりお名前、ご連絡先、ご使用の MetaMorph の ID とご希望の Journal 番号をご記載の上、お問い合わせください

Journal 番号	撮影系 Journal *(MDA=Multidimensional Acquisition)	詳細情報
A1	MDA でデータ取得中に取得済画像を Stack ファイルとして逐次表示する Journal	
A2	MDA に Journal を組み込み、ScanSlide を各ステージポジションで実行後、つなぎ合わせの高解像度画像(100%解像度)を MDA の画像として保存し、タイムラプスが可能になる Journal について	
A3	Stream Acquisition を一定時間間隔で行う Journal について	
A4	MDA にて撮影しながらリアルタイムで Ratio グラフを作成する Journal	

## ASI 社製 Tiger コントローラ制御について

ASI 社の新しくなった Tiger コントローラ(プラグインカード方式で機能追加が可能)が制御可能になりました

今後用途が広がると予想されている Selective Plane Illumination Microscopy (iSPIM/diSPIM)に最適な拡張性の高いコントローラです



現在サポートされているカードとしては、

Two – Axis Card : Controls 2 DC servo axes (X, Y, Z, Zoom など)

Filter Wheel : Two filter wheels ※カード幅 2 幅

Piezo DAC Card : 2 DAC (0~10V) ASI 社以外の piezo ドライブなどの制御

ADEPT Piezo Card : ASI piezo axis(optionally with CRISP autofocus) ※カード幅 2 幅

Micro Mirror Card : Controls wtho micromirror beam steering actuators

CRISP Card : CRISP focus control of DC servo stage such as LS-50, has TTL I/O



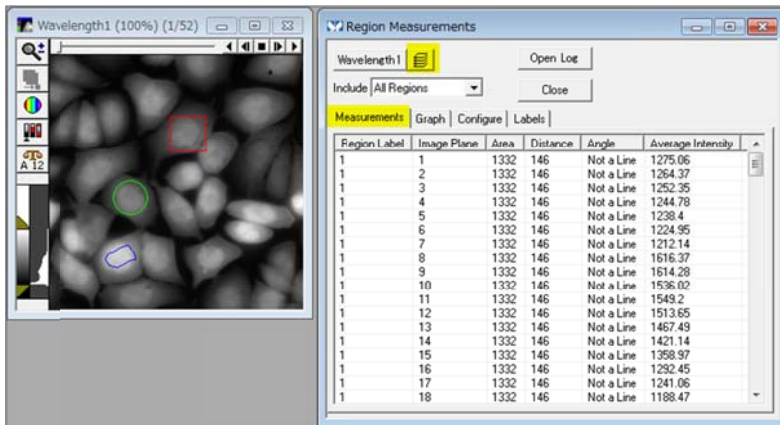
## はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

### Region Measurements (4)

#### 計測結果のグラフ表示を行う

今回は、Measurements タブで計測した結果をグラフ表示させる方法を記載します  
タイムラプス画像の輝度変化などを確認するのに使用すると良いと思います

#### 1. Measurements タブで画像に領域を作成します

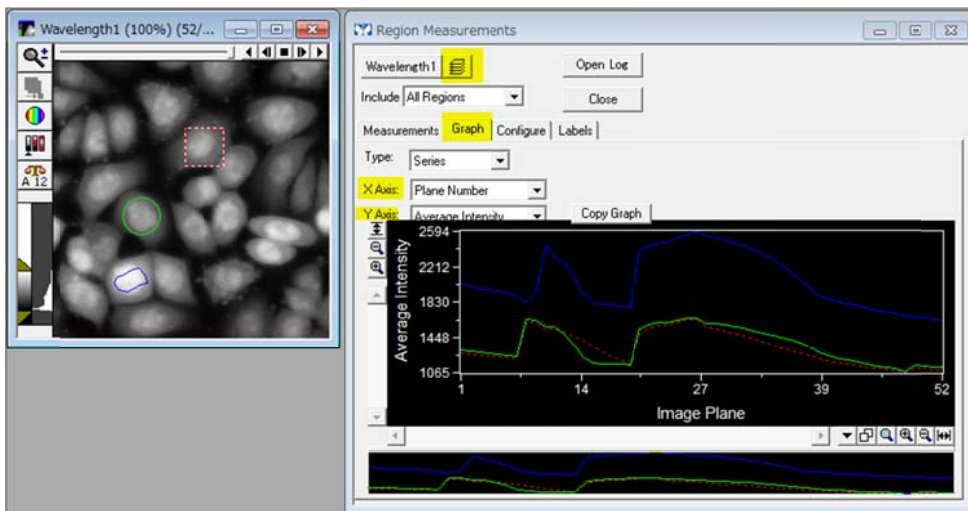


#### 2. Graph タブで X Axis と Y Axis を設定してグラフを表示させます

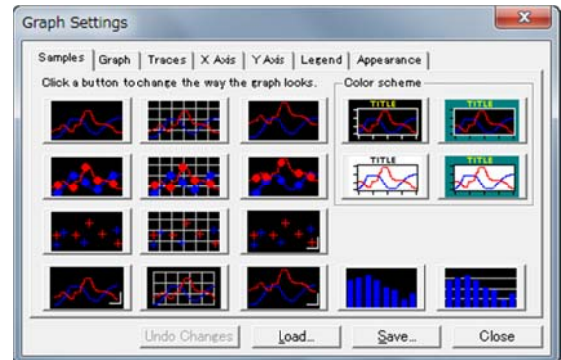
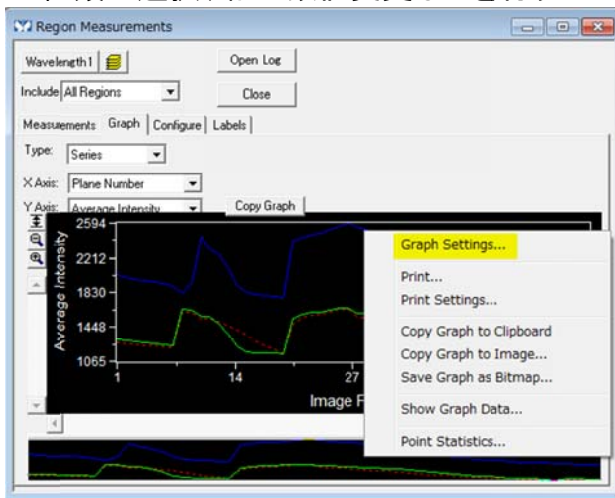
作成した領域内の数値がグラフ化されます

領域の色とグラフの色が一致します

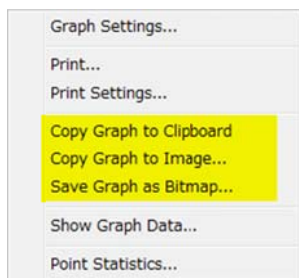
画像名選択の右側のところを All Planes にしてください



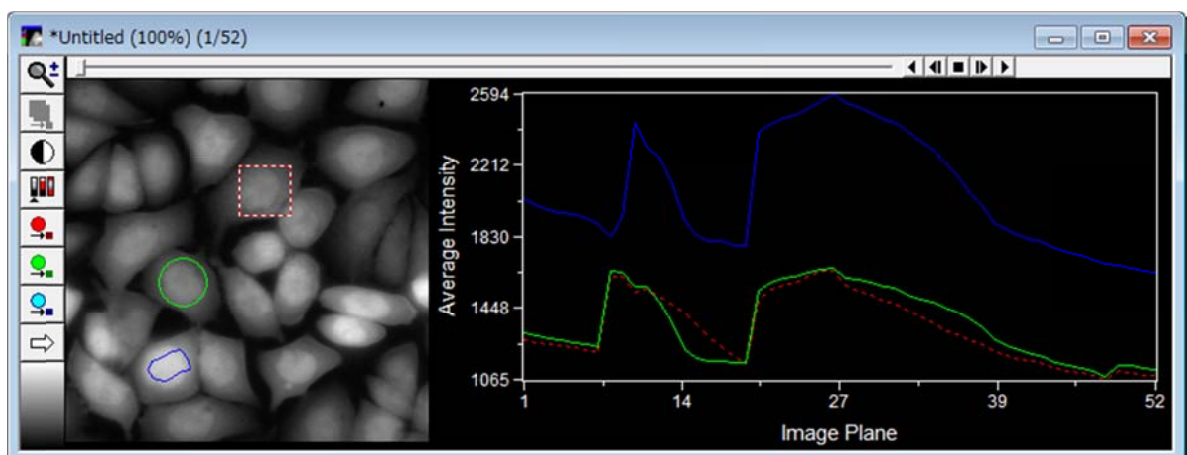
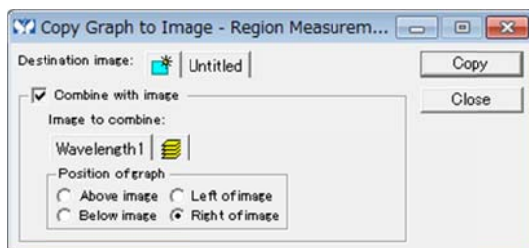
3. グラフ上にカーソルを合わせ、右クリックを行い、**Graph Settings** を選択しますと、グラフの種類の変更、軸の数値変更などを行うことができます



4. **Copy Graph to Clipboard**, **Copy Graph to Image**, **Save Graph as Bitmap** でグラフの貼付や保存することができます



**Copy Graph to Image** では、



上記のように画像とグラフを一体化させたものを作成することができます  
この画像を AVI ファイルに保存して、プレゼンテーションに利用すると良いと思います